

特色ある活躍をされている修了生を対象とした調査
調査結果の一部の公表について

2014年5月1日
法科大学院協会広報委員会

法科大学院協会広報委員会は、法科大学院修了生の活躍状況を把握し、その活躍状況を社会へ発信するとともに、法科大学院修了生が活躍するための今後の課題を分析することを目的として、2013年4月から7月にかけて、特色ある活躍をされている修了生を対象とする調査を実施しました。

調査の方法は、各法科大学院に対し、下記のカテゴリーに従い、特色ある活躍をされている修了生の選出を依頼した上で、選出された修了生に、「特色ある活躍をされている修了生回答シート」へのご回答をいただきました。35校の法科大学院の修了生250名から回答を得ました。集計したデータは、当委員会が委託した法社会学者のご協力の下にまとめています。

このたび、調査結果の一部がまとまりましたので、公表いたします。

なお、当委員会では今後、調査結果の残りの部分もまとめた上で、調査結果全体についての分析を公表する予定です。

<特色ある活躍をされている修了生のカテゴリー>

A	法学部以外の社会科学系の学部や社会科学系以外の学部（理系・芸術系等）から法科大学院に入学し、法科大学院を修了した後、そのキャリアを生かして活躍している修了生
B	法科大学院を修了して司法試験合格後、司法研修所の修習を終え、弁護士登録をした後に、①国家公務員ないし地方公務員として働いている、②企業法務や法務部以外の企業に勤めている、③非営利団体（消費者団体・NPO法人・学校等）や国際機関などの団体に勤めている、④都心部ではなく過疎地域において働いている修了生（過去に①～④の経験がある修了生を含みます）
C	法科大学院を修了して司法試験合格後、司法研修所の修習は受けずに、もしくは司法研修所の修習は終了したが弁護士登録をせずに、①国家公務員ないし地方公務員として働いている、②企業法務や法務部以外の企業に勤めている、③非営利団体（消費者団体・NPO法人・学校等）や国際機関などの団体に勤めている修了生（過去に①～③の経験がある修了生を含みます）

<p>D 法科大学院を修了した後、司法試験に合格せず、もしくは司法試験を受験せずに、①国家公務員ないし地方公務員として働いている、②企業法務や法務部以外の企業に勤めている、③非営利団体（消費者団体・NPO法人・学校等）や国際機関などの団体に勤めている修了生</p>
<p>E 法学部を卒業後、社会人の経験を経て法科大学院に入学し、法科大学院修了後、法曹その他職種にて活躍をしている修了生</p> <p>※ 「社会人の経験を経て」とは、例えば、企業法務、法務以外の営業等、あるいは税理士や司法書士などの士業もしくは公務員の経験を有する方などを指します。</p>

なお、A・E は、入口の特色（法科大学院入学前の経歴に特色ある者）に着目した分類、B・C・D は、出口の特色（法科大学院卒業後の経歴に特色ある者）に着目した分類であり、各法科大学院からの申請区分にしたがっています。したがって、たとえば A の分類に属している修了生が、B の区分の属性を有している場合もありえますが、この点は、今回公表する表には反映されておりません。